



2020年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年5月12日

上場会社名 株式会社パルマ
コード番号 3461 URL <http://www.palma.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野 茂久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 清水 誠一

TEL 03-5501-0358

四半期報告書提出予定日 2020年5月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け 動画配信方式)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の業績(2019年10月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	1,332	15.8	23	63.2	17	70.1	10	73.0
2019年9月期第2四半期	1,150	35.3	64	16.4	58	23.0	38	25.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	1.67	1.53
2019年9月期第2四半期	6.23	5.72

(注) 当社は、2019年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、2019年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	4,206	1,914	45.5
2019年9月期	4,379	1,953	44.6

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 1,913百万円 2019年9月期 1,952百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		0.00		8.00	8.00
2020年9月期		0.00			
2020年9月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,552	49.2	553	9.5	530	9.3	371	9.8	59.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期2Q	6,209,600 株	2019年9月期	6,209,600 株
期末自己株式数	2020年9月期2Q	208 株	2019年9月期	208 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期2Q	6,209,392 株	2019年9月期2Q	6,181,304 株

(注) 当社は、2019年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、2019年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による経済活動の大幅な停滞等の影響により、各地域の経済は著しい縮小が予測されます。感染症の収束時期の見通しについても想定しにくい状況であるため、経済活動の減少の程度及び回復に要する期間ともに予測が極めて難しい状況です。

このような状況の下、当社の特徴である、内覧・見積・契約等のセルフストレージ利用に至る手続きをウェブ等の非対面環境で実施できるITサービスを始めとしたBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)サービスが、新型コロナウイルス禍により事業活動や外出が制限される中においても、事業者の運営効率化や利用者の手続迅速化に大きな影響を及ぼすことなく、効果的なインフラを提供することができております。

当第2四半期累計期間の業績は、各セルフストレージビジネス向けの各サービスの提供が堅調に推移し、売上高は1,332,454千円(前年同四半期比15.8%増)となりました。損益面では、サービス体制拡充のための増員や事務所移転・拡張等の投資を進めたことにより、営業利益は23,584千円(前年同四半期比63.2%減)、経常利益は17,578千円(前年同四半期比70.1%減)、四半期純利益は10,389千円(前年同四半期比73.0%減)となりました。

新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした緊急事態宣言の影響等により、経済活動が著しく縮小されておりますが、当社では、新型コロナウイルス感染拡大抑制のため、マスク着用・換気等予防の徹底、不要不急の出張の禁止、テレビ会議システムの積極的な活用等の対応をとるとともに、テレワークへのスムーズな移行により出社人数を大幅に削減する等の対策を実行しながら、緊急事態の中、事業活動の維持に努めております。

当社は単一セグメントのため、セグメントごとの記載はございません。サービス別の概況は以下の通りであります。

(ビジネスソリューションサービス)

当サービスはセルフストレージ事業者向けに賃料債務保証を付加したアウトソーシングサービスを提供するものであります。当第2四半期累計期間におきましては、当社開発の施設も含めたセルフストレージの認知度向上・利用者の増加などを背景に、本サービスの受託件数も引き続き堅調に推移しました。以上の結果、売上高は423,155千円(前年同四半期比11.0%増)となりました。

(ITソリューションサービス)

当サービスでは、ストレージ事業における業務効率化のためのITシステム開発・運用を行っております。当第2四半期累計期間も、引き続きWEB予約決済・在庫管理システム「クラリス」の導入室数が堅調に増加し、オンラインをメインチャネルとしたセルフストレージの申込・契約の一般化が進展しております。当第2四半期累計期間の売上高は13,609千円(前年同四半期比14.4%増)となりました。

(ターンキーソリューションサービス)

当サービスは、各種投資家やセルフストレージ事業者等向けにセルフストレージ物件の開発、販売を行っており、セルフストレージ事業を直ちに稼働できる状態で提供しております。当第2四半期累計期間は、新型コロナウイルス感染拡大による市況変化を見据え、首都圏エリアの既取得物件の開発・運用を進めてまいりました。当第2四半期累計期間は、「キーピット駒沢深沢」「キーピット茅ヶ崎」の売却等により、売上高は895,690千円(前年同四半期比18.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

流動資産は、前事業年度末と比べて228,776千円減少し、3,971,269千円となりました。これは主にセルフストレージ施設の用地取得・開発を推進したことにより、仕掛販売用不動産が279,102千円、販売用不動産が354,211千円増加した一方で、前記及び法人税等の納税等により現金及び預金が942,347千円減少したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末と比べて55,755千円増加し、235,459千円となりました。これは本社移転・増床や撤去物保管拠点として建物と土地が22,439千円増加したことによるものであります。

この結果、当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べて173,020千円減少し、4,206,729千円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前事業年度末と比べて74,599千円減少し、2,205,766千円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金103,275千円増加した一方で、短期借入金が69,699千円、未払法人税等が117,120千円減少したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末と比べて59,136千円減少し、86,684千円となりました。これは長期借入金が59,136千円減少したことによるものであります。

この結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べて133,735千円減少し、2,292,450千円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、前事業年度末と比べて39,285千円減少し、1,914,279千円となりました。これは主に、配当金の支払49,675千円及び四半期純利益10,389千円を計上したことによるものであります。

なお、自己資本比率につきましては前事業年度末より0.9ポイント増加し45.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ、942,347千円減少し、1,266,572千円となりました。

また、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、807,227千円(前年同四半期に使用した資金は778,856千円)となりました。これは主に、セルフストレージ開発に係るたな卸資産が633,314千円増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、59,980千円(前年同四半期に使用した資金は20,658千円)となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出47,817千円、敷金の差入による支出9,752千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、75,139千円(前年同四半期に得られた資金は334,620千円)となりました。これは主に、長期借入れによる収入が433,000千円あった一方で、短期借入金の純増減額(減少)69,699千円、長期借入金の返済による支出が388,860千円あったことによるものです。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年11月8日の「2019年9月期決算短信」で公表いたしました当期(2020年9月期)の業績予想に変更はありません。本四半期決算短信発表時点においても各事業は堅調に推移しておりますが、今後の新型コロナウイルスの各事業への影響も含め、業績予想の修正が必要となった場合には、直ちに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,248,923	1,306,576
金銭の信託	1,350	1,350
売掛金	75,079	81,774
求償債権	267,723	267,096
販売用不動産	-	354,211
仕掛販売用不動産	1,708,061	1,987,164
その他	34,790	112,211
貸倒引当金	△135,883	△139,115
流動資産合計	4,200,045	3,971,269
固定資産		
有形固定資産	3,997	47,511
無形固定資産	30,670	33,875
投資その他の資産	145,035	154,073
固定資産合計	179,704	235,459
資産合計	4,379,750	4,206,729
負債の部		
流動負債		
短期借入金	694,699	625,000
1年内返済予定の長期借入金	1,102,996	1,206,272
未払法人税等	124,642	7,521
前受収益	109,621	117,983
その他	248,406	248,989
流動負債合計	2,280,365	2,205,766
固定負債		
長期借入金	145,820	86,684
固定負債合計	145,820	86,684
負債合計	2,426,185	2,292,450
純資産の部		
株主資本		
資本金	581,209	581,209
資本剰余金	491,658	491,658
利益剰余金	879,783	840,497
自己株式	△74	△74
株主資本合計	1,952,576	1,913,291
新株予約権	987	987
純資産合計	1,953,564	1,914,279
負債純資産合計	4,379,750	4,206,729

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
売上高	1,150,249	1,332,454
売上原価	775,330	910,700
売上総利益	374,919	421,753
販売費及び一般管理費	310,844	398,169
営業利益	64,074	23,584
営業外収益		
受取利息	13	14
債権売却益	544	1,605
債務勘定整理益	-	1,704
償却債権取立益	129	-
その他	37	109
営業外収益合計	724	3,433
営業外費用		
支払利息	5,988	9,439
営業外費用合計	5,988	9,439
経常利益	58,811	17,578
特別損失		
固定資産除却損	-	181
特別損失合計	-	181
税引前四半期純利益	58,811	17,396
法人税、住民税及び事業税	24,184	1,766
法人税等調整額	△3,911	5,240
法人税等合計	20,272	7,007
四半期純利益	38,538	10,389

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	58,811	17,396
減価償却費	5,491	6,750
貸倒引当金の増減額(△は減少)	19,839	3,232
受取利息及び受取配当金	△13	△14
支払利息	5,988	9,439
固定資産除却損	-	181
売上債権の増減額(△は増加)	△5,893	△6,694
たな卸資産の増減額(△は増加)	△756,203	△633,314
求償債権の増減額(△は増加)	△10,644	626
前受収益の増減額(△は減少)	9,417	8,361
その他	△31,558	△88,710
小計	△704,764	△682,744
利息及び配当金の受取額	12	13
利息の支払額	△6,290	△9,357
法人税等の支払額	△67,814	△115,140
営業活動によるキャッシュ・フロー	△778,856	△807,227
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△728	△40,486
無形固定資産の取得による支出	△7,929	△7,331
関係会社株式の取得による支出	△12,000	△2,400
出資金の払込による支出	-	△10
敷金の差入による支出	-	△9,752
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,658	△59,980
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△240,253	△69,699
長期借入れによる収入	855,500	433,000
長期借入金の返済による支出	△254,508	△388,860
株式の発行による収入	4,500	-
配当金の支払額	△30,618	△49,580
財務活動によるキャッシュ・フロー	334,620	△75,139
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△464,894	△942,347
現金及び現金同等物の期首残高	1,837,826	2,208,920
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,372,931	1,266,572

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

当社の事業セグメントは、セルフストレージビジネスソリューションプロバイダ事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

当社の事業セグメントは、セルフストレージビジネスソリューションプロバイダ事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。